2025 年度科目等履修生・聴講生へ提供する文学部科目(専門教育科目)に関する申し合わせ

文学部・専門教育科目については、下記科目を除き、全ての科目を科目等履修生・聴講生へ提供することとしたい。

【 履修を許可しない科目 】

- 演習科目〔知へのパスポート、知のナヴィゲーター、専修ゼミ、卒業演習 等〕
- 実習科目〔ICT ベーシックス(旧カリ:情報処理入門)、情報処理(各テーマ)、プログラミング、 地理学・地域環境学実習 社会教育実習 等〕

※ただし、社会教育実習については、本学を卒業した者に対しては提供する。

- 必修科目〔専修研究〕
 - ※ 外国人研究生の受講科目の取り扱いについては、科目等履修生・聴講生の受講科目の取り 扱いに準ずることとなっているが、専修研究については、指導教員の許可を得たうえで、 外国人研究生に対しては提供する。
- 初等教育学専修が開設する科目
 - ※ ただし、初等教育学専修が開設する科目は、初等教育学専修卒業者に対しては提供する。
- 総合人文学科目 〔総合人文基礎講義(各テーマ)、専修横断講義(各テーマ)、専修横断演習(各テーマ)、情報社会と研究倫理〕
- ○日本語教授法、日本語教育方法論、日本語教育授業分析、日本語教育実習
 - ※日本語教師養成講座科目のうち、内容的に演習・実習科目に相当すること、および養成講座のほかの必修科目(言語学研究・国語学概論・日本語教育概論)を履修していることが前提となる科目のため。

ただし、本学文学部に2019年度以降に入学し、卒業した者に対しては提供する。

- 定員制科目〔正規生多数の場合、受入不可になることがある〕
- · 書道 (一)
- · 書道 (二)
- ·音楽論 a / b
- ·地理学·地域環境学調査研究法 a/b
- ・地理情報システム a/b
- ・情報メディアの活用
- · 図書館情報技術論
- ・教育文化と図書館情報学(旧カリ名称:情報探索と情報利用 a)
- ・教育政策と図書館(旧カリ名称:電子図書館 a)
- ・映像メディア制作論
- ・博物館実習(※土曜クラスのみ受入可)
- · Intensive English Program I
- · Intensive English Program II
- · Intensive English Program III
- · Intensive English Program IV

- ※ 以下の科目は、教員免許取得希望者のみ受入可
 - ・外国語演習 1a/1b (英語コミュニケーション)
 - ・外国語演習 I/II (ドイツ語) ・外国語演習 I/II (中国語)
 - ・外国語演習 I/II (フランス語)
- ※「博物館実習(土曜クラスのみ受入可)」は、本学卒業者で履修年度に学芸員資格を取得見込みの者に限る。(コースによる出願の際は、本学卒業者に限らない。)

なお、受講希望者に対しては、配当年次や講義要項(シラバス)をよく理解したうえで申し込みを 行うように対応することとしたい。

以上